

今後の進め方について

実態調査

○次回以降の議論の参考とするため、3月上旬までを目途に、各業界団体を通じて、自動車産業のサプライチェーンを構築する企業に対し、自動車産業における取引適正化に関する実態調査(案)(別紙)を行う。

※なお、回答いただいた内容は、会議における議論を深めるため以外の目的には使用しない。また、個社を特定できる形で活用することは一切ない。

開催予定と議題案

○現時点では、開催時期及び議題案を以下のとおり想定。

【第2回】時期：2026年4月頃

議題案：「型の取扱い」を個別論点として取り上げることを想定(※)

【第3回】時期：2026年9月頃

議題案：「補給品の取扱い」を個別論点として取り上げることを想定(※)

※今後実施する実態調査の結果等を踏まえ、取り上げる個別論点の内容は変更となる可能性あり。

○第4回以降については定期的を開催するものとし、その他の個別論点等について随時意見交換を実施する。

自動車産業における取引適正化に関する実態調査（案）

下記の論点について、各項目に記載した課題例を参考に、貴団体/貴社が自動車サプライチェーンにて関与する取引の実態について、改善すべきと考えられる事項、自社や取引先における取引適正化の取組内容、成果が得られた事例や課題が残った事例及びその要因、未だ取組の進まない事項等について、自由に御記入ください。
※御回答いただいた内容については、会議における議論を深めるため以外の目的には使用しません。また、個社を特定できる形で活用することは一切ありません。

団体名/企業名

【型取引に係る課題例】

- 保管費用 ※貸与型・資産型、「事実上管理」の考え方も
- 型のリスト化 ※これまでの取引に係る型の取扱い含む
- 型の継続保管
- 型のメンテナンス、補修費用等

自由記述

- ・~~~~~
- ・~~~~~

【補給品に係る課題例】

- 価格の見直し
- 量産品との区別 ※数量条件の導入含む
- 補給品の生産停止の取組 ※一括生産制度の取組含む等

自由記述

- ・~~~~~
- ・~~~~~

【代金決定に係る課題例】

- 原材料価格、エネルギーコスト、労務費等の価格転嫁
- 一方的な原価低減率の提示
- 自社努力の適正評価
- 数量や仕様など取引条件の変更等

自由記述

- ・~~~~~
- ・~~~~~

【その他の課題例】

- 不利な取引条件の押しつけ ※過度な品質水準含む
 - 受領拒否・検収遅延 ※検収基準、試打ち品の取扱い含む
 - 手形の交付・有償支給原材料の早期決済及び在庫保管
- ※受発注間の板挟みによる資金繰り懸念含む
- 金型図面及び技術・ノウハウ等の流出
 - 自発的申出制度
 - SDV時代におけるソフトウェア対価の算出方法等

自由記述

- ・~~~~~
- ・~~~~~

※参考：「自動車産業適正取引ガイドライン（平成7年12月最終改訂） 第1章 3. 自動車産業において問題視されやすい具体的行為類型についての整理」より。

- (1) 補給品の取り扱い、(2) 型取引の適正化、(3) 配送費用の負担、(4) 原材料価格、エネルギーコスト、労務費等の価格転嫁、(5) 一方的な原価低減率の提示、(6) 自社努力の適正評価
(7) 不利な取引条件の押しつけ、(8) 数量や仕様など取引条件の変更、(9) 受領拒否・検収遅延、(10) 手形の交付・有償支給原材料の早期決済及び在庫保管、(11) 金型図面及び技術・ノウハウ等の流出

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/car_trading/pdf/20251201_1.pdf